

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

施設名	岡山県天神山文化プラザ
施設所在地	岡山県岡山市北区天神町8番54号

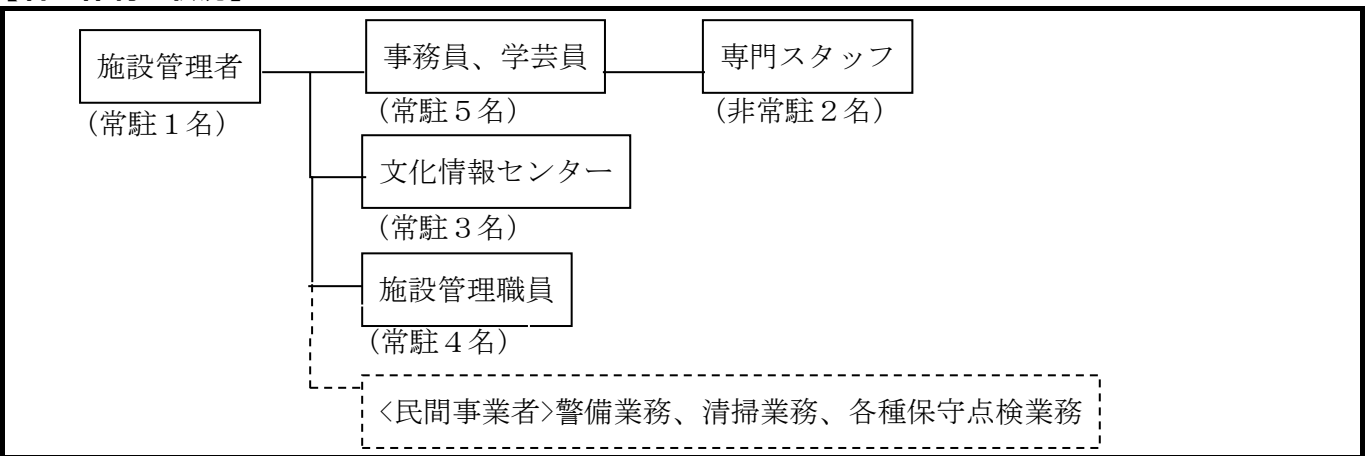
【指定管理者の概要】

名 称	公益社団法人岡山県文化連盟	代表者	会長 若林 昭吾
所在地	岡山県岡山市北区天神町8番54号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
管理業務の内容	天神山文化プラザの ・業務の実施に関する事。 ・施設等の維持管理に関する事。 ・利用等の許可に関する事。 ・その他運営に関する事。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		ホール	練習室	会議室	展示室	設備	合 計
許可 件 数	7 年度	187	3,784	685	161	806	5,623
	6 年度	174	3,768	539	173	751	5,405
	増 減	13	16	146	△12	55	218

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の維持管理業務	・建物、設備保守管理 ・清掃及び一般廃棄物処理 ・植栽管理 ・警備 ・駐車場管理
施設等の利用許可業務	計5,477件 〔内訳〕施設(貸館)4,684件、設備(機器等)793件
自主企画事業	計28回開催 〔主な内容〕・天プラ・セレクション(展示室) ・土曜劇場(ホール) ・レコードコンサート(練習室)

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	ホール	練習室	会議室	展示室	設備	合 計
収 入 額	4,394,400	4,179,400	1,205,570	15,322,200	1,501,300	26,602,870
利用件数	184	3,663	676	161	793	5,477
減 免 額	0	0	22,900	912,000	2,000	936,900
減免理由	岡山県等が主催する文化事業					

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		7 年度	対前年度増減額	6 年度	備 考
収 入 額 A		101,617,438	1,950,743	99,666,695	7 年度収入額
内 訳	指定管理料	74,107,000	3,983,000	70,124,000	・指定管理料のうち 賃金及び物価の上 昇に応じた増額分 6,082,000円 (財源は全額国庫)
	利用料金収入	26,602,870	△238,200	26,841,070	
	事業収入	250,100	△51,500	301,600	
	その他	657,468	△1,742,557	2,400,025	
支 出 額 B		102,340,892	2,613,581	99,727,311	・その他の主なもの 助成金 450,000円
内 訳	人件費	42,805,496	179,776	42,625,720	7 年度支出額 ・その他の主なもの 税金 4,806,900円
	管理運営費	42,423,214	3,605,558	38,817,656	
	事業費	3,246,002	△3,638,753	6,884,755	
	その他	13,866,180	2,467,000	11,399,180	
収 支 額 A－B		△723,454	△662,838	△60,616	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		68,025,000	0	68,025,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運 営 状 況	①適切な施設 管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行された。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令に基づく義務は適切に履行された。
	③安全性の確保	B	安全管理マニュアルに従い、防火訓練のほか、避難訓練の実施による安全性確保の取組など、安全の管理に努めた。
	④財産の適切な 管理	B	中長期的な収支や環境に配慮しながら、経年劣化による設備の修繕や備品の更新を行うとともに、収蔵作品の適切な管理を行った。
導 入 効 果	① 利用状況	B	新型コロナ以前の利用者数の9割程度まで回復した。前年度比で若干の増となった。 【利用者数】 R 7：189,718人←R 6：169,948人
	② 収支状況	B	利用料金収入が回復傾向にあり、経費削減に努めたが、修繕費等がかさんだ影響でマイナスとなった。
	③サービス向上	B	休館日における貸室の臨時開館など、利用者に対するサービス向上への取組がなされた。
管理運営業務全般		B	協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施された。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。